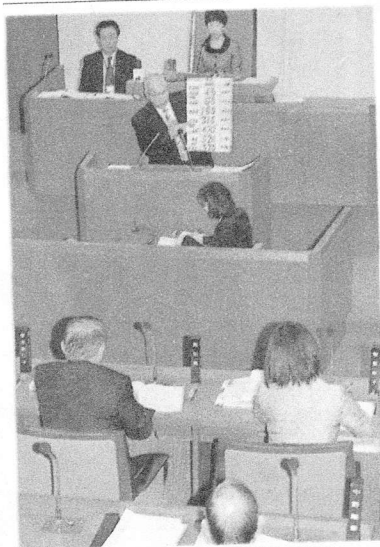


「見張り番」 代表幹事 生駒市議の定数・報酬削減 本会議で趣旨説明

生駒市議の定数と報酬を削減する条例改正案を直接請求した「見張り番・生駒」の阪口保代表幹事は9日、市議会本会議で趣旨を説明した。「市民の目は非常に厳しく、市民アンケートでは日額制やボランティア制を求める声もある。6796人の署名の思いを真摯に受け止め、可決してほしい」と訴えた。

阪口代表幹事は議員報酬の



壇上から定数と報酬の削減理由を述べる阪口保代表幹事＝生駒市議会

値上げ経過をまとめた紙を掲げ、「バブル経済の崩壊やリーマン・ショックで市民や職

員の給料は下がっているのに、議員の過去14回の条例改定は値上げばかり」と厳しく批判した。
元議長の汚職事件の例を挙げ、「監視能力が発揮されたとは言いがたいし、政策立案もほとんど見られない」と指摘

し、現行約57万円の月額報酬の30%削減を求めた。現行24の定数の6減についても、17人で運営している類似団体の例を挙げ、「支障があるとは聞いていない。議員は数では

なく質だ」と述べた。
条例改正案は企画総務委員会に付託されており、阪口代表幹事は17日の委員会に出席する予定。定例会最終日の21日に採決される見込み。